

令和5年度 部局経営方針

部局名(課名)		教育委員会	部局長名	小林 英明	令和5年4月1日 現在
部局の経営資源	職員数 (人)		当初予算額 (千円)		令和5年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)
	正職員	55 (兼務7)	一般会計	1,699,382	
	再任用職員	12	特別会計	0	
	会計年度任用職員	102	前年度繰越額(千円)		
	任期付職	0	一般会計	13,097	
			特別会計	0	
総合計画に基づく部局の経営戦略	【基本姿勢】 教育委員会は、「第2次日向市総合計画・後期基本計画」(令和3年度～6年度)に掲げる将来像「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる元気なまち」の実現に向け、「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」を目指し、各施策に取り組みます。				
	快適な環境の中で互いに学び合い、それぞれの個性を伸ばし、自分で考えて行動できる「生きる力」を身に付けた子どもの育成を目指します。地域社会が一体となって子どもを守り育てることで、郷土の文化や資源に誇りを感じ、ふるさとを愛する人材の育成を目指します。人権が尊重され、互いに認め合い、それぞれの個性を生かしながら幸せに暮らせる社会の実現を目指します。				
	【総合計画・基本理念】				
	(1)人権尊重 ○一人ひとりが尊重され、誰もが自由に個性と能力を発揮し、平和を尊ぶ心を育む教育を推進します。				
	(2)市民協働 ○学校、家庭、地域が連携しながら、ふるさと日向市を愛し、心豊かな人材の育成を目指します。				
	(3)地域力活用 ○学校、家庭、地域が連携しながら子どもを守り育てることで、社会に貢献する人材を育みます。				
	【総合計画・基本目標】				
	01-01 生きる力を育む教育の推進 ○学ぶ意欲と学力の向上を図るため、「キャリア教育」、「小中一貫教育」、「コミュニティ・スクール」の三位一体の教育を柱に、授業力向上に向けた支援の強化や外国語教育等の取り組みを推進します。				
	○学校ICT環境を活用し、デジタル教材や家庭学習の充実を図るとともに教員のICT活用指導力の向上に取り組み、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。				
	○幼児教育と小学校教育を円滑に接続するため、スタートカリキュラムの活用を図るとともに、幼保小中連携協議会の実施などを通して、保育所・認定こども園・幼稚園・小学校の連携を強化します。				
○児童生徒の特性を踏まえた適切な特別支援教育を行うため、指導方法の充実を図るとともに関係機関との連携強化に努めます。					

【総合計画・基本目標】

01-02 魅力ある教育体制や環境の充実

- 問題や悩みを抱える児童生徒の相談支援体制充実のため、学校や関係機関と情報を共有しながら、不登校やいじめ、虐待の防止に努めます。また、民間の施設とも連携しながら子どもの居場所づくりに取り組みます。
- 少子化の進行による将来的な児童生徒数の減少を見据え、通学区域のあり方をはじめ、適切な学校配置に向けた基本方針の策定に取り組みます。
- 学校の働き方改革を推進するため、校務支援システムの活用など事務の効率化を図るとともに、教育課程を工夫した取組や部活動改革に向けた検討を進めます。
- 児童生徒の健康づくり推進のため、健診や食育の実施、さらには健診後の健康指導に取り組みます。
- 安全安心な教育環境の充実を図るため、学校施設の整備や環境に配慮した学校設備の改修及び適正な維持補修に努めます。
- 国の法令や衛生基準に基づき、適切な施設管理に努め、安全安心な学校給食を提供します。
- 食物アレルギーがある児童生徒については、家庭や学校と情報共有を図りながら、食物アレルギー対応に努めます。
- 適正な学校給食費の徴収管理に努め、円滑かつ効率的な学校給食の運営に取り組みます。
- 学校給食センターの設備や器具類等の計画的な更新や支出の平準化に努めます。
- 学校や生産者と連携し、食育や地産地消を推進します。

01-03 地域が一体となった青少年の育成

- 地域全体で子どもを守り育てる事業に積極的に取り組むとともに、子どもたちが地域に誇りを持てるような取組を推進していきます。
- 中学生が自らの夢に向かって様々な課題にチャレンジする取組の支援や、市内の文化施設等を活用した体験学習の実施により、日向市の良さを再発見するなど、未来のふるさとを担う人材の育成に取り組みます。

01-04 社会教育の推進

- 地域社会で生きがいをもって暮らしていける環境づくりに努め、生涯学習・社会教育の充実・振興を図り、社会教育を推進していきます。

01-05 図書館サービスの充実

- 市民が生涯学習の場として利用しやすい図書館を目指し、図書館機能の充実に努めるとともに、安全で安心な環境づくりに努めます。
- ブックスタート運動やおはなし会など、関係機関や図書館ボランティアと連携しながら、読書活動の推進に努めます。
- 学校図書館司書の配置など、学校図書館の機能を充実させ、読書の楽しさを伝える環境づくりに取り組みます。

01-06 地域文化の保存・継承・活用

- 地域に伝わる文化財を広く周知することで郷土愛を育むとともに、後世へと伝えていくため、その調査と保存、および活用に取り組みます。
- 各団体等の芸術文化活動を支援し、市民が芸術や文化に親しむ環境の整備を図ります。
- 若山牧水をはじめとした地域の先人の顕彰や情報発信を積極的に行い、市民の郷土愛を深めるとともに、ふるさとに誇りを持つ人材の育成を図ります。

01-07 スポーツ活動の推進と環境づくり

- 生涯スポーツと競技スポーツの各種事業を推進し、市民の健康増進や心身の健康及びアスリートの育成を図ります。
- スポーツ施設を安全・安心に利用できるような適切な管理と計画的な改修・整備に努めます。

01-08 人権・平和の尊重

- 沖縄県に中学生を派遣する平和交流事業を実施し、平和学習の推進を図ります。
- 市学校人権・同和教育推進協議会や人権・同和研究大会の充実を図り、人権・同和教育問題に対する教職員等の正しい理解の促進に取り組みます。

01-10 国際化への対応と国際交流の推進

- 国際感覚豊かな子どもを育成するため、外国語指導助手(ALT)と触れ合いながら学ぶ機会の充実に努めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
1	未来へつなげる人づくり	未来を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	生きる力を育む教育の推進	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合 【R1】89.0% ↓ 【R6】90.0%	1 コミュニティ・スクール制度に基づく学校運営協議会を開催し、学校の教育方針を踏まえ、地域などと連携した学校教育を行います。	学校教育課	学校運営協議会において、単なる説明や情報開示だけになっており、地域人材が参画する学校運営協議会に至っていない学校もあり、取組に差が出ています。	コミュニティ・スクール(小・中学校)に要する経費	コミュニティ・スクール推進上の課題や各学校の取組状況を把握し、研修の充実を図ることで、課題の解決を図るとともに、地域の方々の参画を得ながら地域とともにある学校づくりを推進します。	各学校に活動の年間計画と活動の方向性について報告を求め、その内容に応じて協議会に参加し必要に応じて指導助言を行います。また、8月に研修会を開催し、学校の枠を超えて委員同士が意見交換する場を設定することで、委員の資質向上を支援していきます。	各学校が取り組んでいる小中一貫教育やキャリア教育について、学校評価を生かしながら協議が行われるよう、各学校の協議会に参加したり、啓発したりするなどに取り組みます。その中で、「社会に開かれた教育課程」が推進されるよう指導助言に取り組みます。	各学校における学校運営協議会の開催回数(1協議会ごとの平均)	4	回
					2 小中一貫教育の推進のために、中学校区で作成したランドデザインを基に、9年間を見据えた系統的で一貫性のある教育に取り組めます。	学校教育課	各中学校区でランドデザインを作成し、9年間で目指す子ども像や学校像を共有しながら、系統的で一貫性のある教育活動を行っています。	小中連携・一貫推進事業	小中一貫教育推進上の課題を整理し、さらなる充実を図るために、コミュニティ・スクールやキャリア教育と関わりをもたせた研修の充実を図ります。	小中一貫教育推進上の課題を整理し、更なる取組の充実を図るための研修会を実施します。また、既に作成しているランドデザインについて見直しを含めた研修会を実施します。	各中学校区内で、9年間で育てたい子どもの姿を意識した日々の取組について、学校運営協議会委員や保護者、地域の方々に向けて情報発信を行います。	小中一貫教育合同研修会を1回以上実施した中学校区数	7	中学校区
3					3 幼児期の体験や学びを円滑に小学校の学習につなぐ取組を推進し、幼児教育との連携・充実に努めます。	学校教育課	幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の職員が合同での研修会を通して、接続の重要性を共通理解しています。	-	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通理解するために、小学校と幼稚園等の職員が互いに交流しながら、共に学ぶことができる研修を計画的に実施します。	小学校と幼稚園等が互いに授業等を参観・交流し、具体的な「幼児期までに育ってほしい姿」を共通理解するとともに、「スタートカリキュラム」や「アプローチカリキュラム」等の取組を支援します。	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通理解した上で、よりスムーズな連携のために、「スタートカリキュラム」や「アプローチカリキュラム」の見直しや共通理解を図ります。	幼保小連携協議会の開催回数	3	回
4					4 学校ICT環境の整備を推進し、ICTを効果的に活用した教育を行います。	学校教育課	年次的にパソコンの更新は行っているものの通信環境機器に不具合が生じている学校があります。また、整備された機器を活用したわかる授業実施への支援が必要です。	学校ICT環境整備事業(小学校)(中学校)	タブレットを、より効果的に活用するため、先生方の指導力の向上を、継続して図る必要があります。また、ICT環境を適切に維持していくため、必要な整備に取り組めます。	ICTを活用した効果的な授業を行うため、ハードウェア・ソフトウェアの取扱いに関する研修会を実施します。また、ICT支援員の派遣(1回/週)を行います。	授業での活用方法について研究を進めていくほか、ICT環境を適切に維持管理していくため、必要な整備に取り組めます。	教員のICT活用指導力の調査における、「授業にICTを活用して指導する能力」について、「できる・ややできる」と回答する教員の割合	85	%
5					5 将来を見据えた通学区域の検討を行います。	学校教育課	本市の小中学校数は、人口規模から見ると多い状況にあり、学校規模の適正化について研究や協議が必要です。	就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費	庁内検討委員会及びワーキング会議を開催し、学校の適正配置の課題等について整理を行うとともに、今後の方向性について協議を行います。また、通学区域審議会を開催し、住民の意見も踏まえた学校規模の適正化に向けた協議を行います。	庁内検討委員会及びワーキング会議を開催し、学校の適正配置の課題等について整理を行うとともに、今後の方向性について協議を行います。	通学区域審議会を開催し、学校規模の適正化に向けた協議を行います。	通学区域審議会の開催	2	回
6			や2環境魅力のある教育体制	不登校児童生徒が学校に復帰した割合 【R1】26.8% ↓ 【R6】29.1%	1 スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の悩み相談など心のケアを行います。	学校教育課	児童生徒が抱える悩みや問題は、様々な社会的背景を反映し多様化するとともに、増加傾向にあります。その解決には、学校外の専門機関との連携を図る必要があります。	スクールサポート事業	児童生徒の相談に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣(又は定期に常駐)し、きめ細かな対応を行うとともに、専門的で福祉的な知見を活かし、生活環境の見直しや関係機関との連携を充実させます。また、学校職員を対象に福祉的な視点での児童生徒のサポートの支援方法について研修を行います。	各学校を定期的に訪問するほか、対応するケースの多い学校については、生徒指導部会に参加するなど、積極的な情報の収集に努めます。また、要保護児童対策地域協議会に出席し、情報の収集と提供に努めながら、福祉部局との連携強化を図ります。	スクールソーシャルワーカーを活用し、学校の要請に応じて事業の対応に努めます。また、関係機関との情報共有を図ることで、問題の発見、予防、解決の機能を高めます。	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査において、各学校が「指導の結果登校する、または、できるようになった児童生徒」の割合	25	%

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
7	未来へつなげる人づくり	未来を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	魅力ある教育体制や環境の充実	不登校児童生徒が学校に復帰した割合 【R1】26.8% ↓ 【R6】29.1%	2 適応指導教室などで児童生徒の不登校解消に向けた相談・指導を行います。	学校教育課	複雑な社会的背景を反映し、学校への不応から不登校となる生徒は、本市でも増加傾向にあります。その解決には、学校と連携しながら、個別の特性や状況に応じたきめ細かな指導を行う必要があります。	スクールサポート事業	学校以外の学習の場を提供するとともに、安心できる居場所としての機能充実を図ります。また、学校や関係機関と連携を図りながら児童生徒本人や家庭への効果的な支援を行います。さらにタブレット端末の効果的な活用を図り、個別の学習保障に努めるとともに、リモート機能を活用して、これまで以上に学級や教職員との交流を図り、学校復帰の一助とします。	適応指導教室での指導を通じて、各児童生徒の状況に応じた指導を行いながら、学校との情報共有を月に1回行うほか、保護者との面談を積極的に行い、学校復帰へのプランニングを協働で行います。また、児童生徒本人と学校との接点が途切れないう、タブレット端末等を活用した取組を充実させます。	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導担当専任指導主事連携を図りながら、不登校及び不登校傾向にある児童生徒の自立を促す働きかけを、学校と協力して、児童生徒及び家庭に対して行います。	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査において、各学校が、「指導の結果登校する、または、できるようになった児童生徒」の割合	25	%
				-	4 児童生徒が安全で安心して教育を受けられるよう、学校施設の改修・整備に努めます。	課教育総務	施設の経年劣化により教育環境向上が求められています。	小学校各校整備事業 中学校各校整備事業	小中学校の管理諸室の照明器具改修及び空調・受水槽の更新工事に取り組みます。	夏期休業等を利用して、教育に影響のないように改修工事を実施します。	塩見小学校の受水槽更新を実施します。	小中学校の管理諸室の照明をLED照明への実施校	7	校
9			地域が一体となった青少年の育成	-	1 世代間交流活動を支援し、地域における教育力を高め、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育みます。	生涯学習課	地域における体験活動をととして子どもの健全育成に寄与していますが、実施団体が固定化しているため新たな団体の取組を促す必要があります。	地域教育力活性化事業	「地域の子どもは地域で育てる」という本事業の目的のため、世代間交流活動などをおとして、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力の育成を図ります。	地域教育力活性化推進事業受託団体募集、委託契約、児童生徒健全育成事業補助金交付決定、活動への助言、実施状況確認	地域教育力活性化推進事業活動への助言、実施状況確認	大人の参加割合	50	%
10				-	2 地域の協力により放課後子ども教室を開設し、子どもたちが安全に安心して過ごすことのできる居場所づくりに努めます。	生涯学習課	令和2年度より新たに夏季休業期間中にも開設した教室があり、全体的に活動日数も増加していますが、子どもの活動を見守るサポーターが少ない教室もあり、新たなサポーターの確保が課題です。	放課後子ども教室推進事業	放課後に小学校等を利用し、地域住民の参画を得て子どもたちと行う勉強、屋外活動、文化活動などの取組を支援します。また、サポーターの協力を得て、七夕やクリスマスなど季節にあった行事を積極的に取り入れていきます。また各教室のサポーターの研修会を5年度も開催し、資質の向上と活動内容の充実に努めます。平岩小、細島小、塩見小、美々津小、寺迫小、東郷学園(2教室)にて開設	保護者説明会、参加児童の受け入れ、活動支援、定例指導者会の開催、サポーター研修会の開催	参加児童の受け入れ、活動支援、定例指導者会の開催	登録児童数	200	人

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
11	未来へつなげる人づくり	1 未来を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	4 読書活動の推進	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数(平均) 小学生【R1】13.6冊 ↓ 【R6】15.0冊 中学生【R1】3.9冊 ↓ 【R6】4.2冊	1 ブックスタート事業として、乳幼児に絵本を贈り、本に親しむ機会を提供します。	図書館	7か月・1歳6か月・3歳児健診に合わせて絵本を贈っていますが、本を渡すだけで、活用方法等については伝えられていないため、保護者とお話できる機会を作ることが必要です。	児童サービスに要する経費	絵本を贈る際に、ブックスタートについて説明を行い、絵本の大切さを紹介する小冊子を渡して読書の必要性を伝えるとともに、貸出カードの作成案内、おはなし会等のイベントの案内を渡して、図書館利用の契機とします。	・ブックスタート 7か月児健診時に絵本1冊、布製バック、パンフレットを配布 ・ブックスタートプラス 1歳6か月児健診時に絵本1冊配布 ・ブックスタートツープラス 3歳児健診時に絵本1冊配布 ・おはなし会・春のとしょかんまつりの案内	・ブックスタート 7か月児健診時に絵本1冊、布製バック、パンフレットを配布 ・ブックスタートプラス 1歳6か月児健診時に絵本1冊配布 ・ブックスタートツープラス 3歳児健診時に絵本1冊配布 ・おはなし会・秋のとしょかんまつりの案内	ブックスタート対象者に対して配布できた割合	100	%
12					2 図書館、学校図書館、公民館図書室が連携し、子どもの読書活動を支援します。	図書館・学校教育課	公立公民館図書室に配本したり、学校図書室に図書館の蔵書を団体貸出ししたりして、子どもの読書環境の充実に努めています。コロナ禍で休止していた巡回図書は令和5年度から新たな運用を開始しています。	図書館サービス・資料の充実 に要する経費	公立公民館図書室への配本、学校や児童クラブ、放課後子ども教室等への団体貸出しを行います。学校図書館担当の司書を置いて、学校図書館との連携を図ります。	・中央公民館を除く公立公民館図書室への配本 ・学校、幼稚園・保育園、児童クラブ、放課後子ども教室等への団体貸出し ・学校図書館との連携による調べ学習資料の貸出し ・移動図書館事業による図書の巡回貸出	・中央公民館を除く公立公民館図書室への配本 ・学校、幼稚園・保育園、児童クラブ、放課後子ども教室等への団体貸出し ・学校図書館との連携による調べ学習資料の貸出し ・移動図書館事業による図書の巡回貸出	貸出冊数(年間)	190,000	冊
13					3 学校図書館司書を配置し、児童生徒が読書に親しむ環境づくりに取り組みます。	学校教育課	学校図書館司書は2～3校に1名を配置しており、主に図書室環境整備を行っています。図書室の月平均の貸出冊数は県平均に達していません。	読書活動推進事業	学校図書館司書や学校の図書担当職員を対象に、学校図書館の環境整備や活用に関する研修(年2回)を行い、子どもたちの更なる読書意欲の向上につなげていきます。	学校図書館司書が、各学校の読書活動の取組に対して、より効果的な支援ができるよう、学校や市立図書館との連携の方法や授業における学校図書館の活用についての研修を実施します。	相互に学校図書館の取組を視察するなど情報交換を行い、今後の取組の改善など充実を図っていきます。	小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数(平均)	小15中4	冊
14	ト3 ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	く1り 豊かな人権感覚を持った人づくり	-	1 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	学校教育課	「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に従い、生涯学習課、地域コミュニティ課人権・同和行政推進室と連携し、同和教育をはじめとする人権教育の充実に取り組みます。	同和教育の充実に要する経費	教育集会所での活動をはじめ、日向市人権・同和教育研究大会、学校における実践報告会などに取り組みます。	教育集会所や、各種研究大会、講演会等で人権問題に関する学びを深めます。	教育集会所や、各種研究大会、講演会等で人権問題に関する学びを深めます。	市・人権同和教育研究大会への参加者数	600	人	
15			-	1 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づいた人権教育や啓発活動を推進します。	生涯学習課	人権講座を4回開催しており、平均して約60人の参加者がいます。内容についてもタイムリーな話題などを取り上げるようにしています。	社会教育一般事務費	・人権講座の開催(4回) 広報誌、HP、これまでの参加企業、さらに自主学級の代表者へ案内するなどして、参加者を募ります。	講師選定について、関係部署や社会教育指導員と協議します。	・人権講座の開催(4回)	人権講座の受講者アンケートにおける満足度(大変良かった・良かったと回答した参加者の割合)	90	%	
16			進育3 郷土の愛を推	-	1 総合的な学習の時間を活用し、ふるさと教育の充実を図ります。	学校教育課	児童生徒が郷土の歌人「若山牧水」の短歌等に親しむ機会をさらに広げていく必要があります。	牧水教育事業	牧水かるた大会を、若山牧水の生涯の日である8月24日に開催するとともに、牧水顕彰事業(青の国若山牧水短歌大会・牧水短歌甲子園大会)の情報提供を行うなど、若山牧水に親しむ機会への参加を促します。	国語科部会と協議を行い、牧水かるた大会を牧水生涯の日である8月24日に開催します。	牧水かるた大会をはじめ、牧水顕彰事業への参加状況等について振り返りを行い、次年度大会の開催方法等を協議します。	牧水かるた大会への参加校数	20	校

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
17	未来へつなげる人づくり	ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	郷土愛を育む教育の推進	-	2 囲碁教室の開催など囲碁文化の継承に努めます。	課 学校教育	児童生徒数の減少や余暇活動の多様化、また授業時数の確保等により、学校と連携した取組が困難な状況にあります。	「囲碁のまち日向市」モデル事業	日本棋院日向支部と連携し「囲碁の次世代育成活動事業」により初心者講座を開催します。	初心者講座を開催するほか、他機関との連携方策について協議します。	初心者講座を開催するほか、他機関との連携に向けた取組を進めます。	児童生徒を対象とした囲碁教室の開催回数	50	回
18				-	3 若山牧水の短歌に親しみ、牧水への理解を深めます。	課 スポーツ・文化振興	牧水・短歌甲子園や青の國若山牧水短歌大会などを通じて、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	牧水顕彰事業	・牧水記念文学館企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の國若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会 ・若山牧水生誕140周年記念事業実行委員会設立	・牧水記念文学館企画展 ・牧水・短歌甲子園(8月) ・牧水祭(9月)	・牧水記念文学館企画展 ・青の國若山牧水短歌大会表彰式(12月) ・若山牧水賞記念講演会(2月) ・若山牧水生誕140周年記念事業実行委員会設立	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数(年間)	4,800	人
19				-	4 中学生が思い描いている夢に向かいチャレンジする取組を支援します。	生涯学習課	子どもの夢サポート事業では、新型コロナウイルスの影響もありますが、応募者を増やすことが課題であり、あらゆる方策を探り、実施につなげていきます。	ふるさと再発見！子どもの実現夢サポート事業	夢サポート事業では、生徒に関心を持ってもらい、申込者数の増加につながるよう周知方法の改善を図り、生徒自身の夢に向かってチャレンジする取組を支援します。	・募集案内 ・選考委員会の開催 ・補助対象者との打ち合わせ ・実施に向けた支援	・実施に向けた支援 ・報告会の開催	申込者数	17	人
20				学校給食食材に占める地産地消率 【R1】61.4% ↓ 【R6】64.0%	5 学校給食への地元食材の活用や地産地消交流学校給食会の開催など、学校給食における地産地消を推進します。	タ 学校給食セン	保護者が負担する給食費で大量で規格の揃った安価な食材を購入する必要があるため、市外産、外国産の食材を調達している状況があります。	給食調理に要する経費 学校給食運営事業	地元食材の購入に努めます。	地元食材の購入に努めます。	地元食材の購入に努めます。	学校給食に占める地元食材の割合	64	%
21	充 4 実 キャリア教育の	「日向市が好き」と答えた中学生の割合 【R1】82.4% ↓ 【R6】88.2%	1 産学官や地域の大人が連携し、「日向の大人はみな子どもたちの先生」をスローガンにキャリア教育支援事業「よのなか教室」を市民運動として推進します。	学校教育課	キャリア教育を通して身に付けさせたい力を明確にするとともに、そのために必要な体験活動や学習内容が効果的なものとなるよう、随時ブラッシュアップに努める必要があります。	キャリア教育推進事業	各学校で育てたい力や目指す姿を明確にするため、キャリア教育の計画や総合的な学習の時間における取り組みを見直します。また、キャリア教育支援センターと連携を充実させながら、効果的なコーディネートのある在り方やサポート体制について、検討します。	キャリア教育に係る計画や活動の整理と見直しを図るとともに、よのなか先生などキャリア教育支援センターとの連携による、幅広い活用についての検討について、各学校に周知します。	14歳のよのなか挑戦について充実を図るとともに、その有効性や効果を他の学校にも広く発信することで、各学校の計画や実践を見直す契機とします。また、令和5年度の成果や課題を各学校から保護者や地域に発信します。	小学校5年生、中学校2年生を対象とするキャリア教育アンケートの結果	87%	%		
22	の専 5 支門 援教高の育校 充機・実関高へ等	-	1 小学校・中学校・高校の連携強化や市内の県立高校の魅力向上への支援など、市内高校への進学率の向上に努めます。	学校教育課	中学卒業後、子どもたちは市内外の高校に通っている状況にあります。市外の高校に通う生徒も多数おり、今後、更に中学生に対して、市内の高校の魅力をアピールする必要があります。	-	中高連携等の機会を通して、高校の魅力や情報提供を行うなど、市内高校への関心を高める取組を充実します。	進路指導の時間等で、市内の高校と中学校が連携して学べる取組等を検討していきます。	各中学校における高校説明会において、市内の高校の魅力を十分に発信してもらい、生徒の関心が高まるよう取り組みます。	小学校5年生、中学校2年生を対象とするキャリア教育アンケートの結果	87%	%		

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
23	り1 未来へつなげる人づく	か3 なふるさとプロジェクト	関5 への高校支援・高専教育機	-	4 放送大学宮崎学習センターの情報発信や入学料に対する市民への支援など利用促進に努めます。	生涯学習課	放送大学宮崎学習センターの学生数が減少傾向にあるため、入学者数を増やす取組が必要です。	放送大学支援事業	放送大学宮崎学習センター振興協議会が行う宮崎学習センターの支援事業に対して助成します。学習センターが主催する公開講座などの開催が放送大学の取組に関心を持ってもらうことにつながるため、様々な取組を通じて振興協議会と連携を図り、入学者の増加に努めていきます。 宮崎学習センターに入学した市民に対し、入学料の2分の1を補助します。	・放送大学宮崎学習センター振興協議会への補助金交付 ・入学奨励補助金の助成	・広報ひゅうがへの入学者募集情報の掲載 ・入学奨励補助金の助成	入学奨励金申請者数	10	人
24	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	4 牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり	-	1 青の国若山牧水短歌大会や短歌甲子園など、牧水顕彰事業の拡充に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	牧水・短歌甲子園や青の国若山牧水短歌大会などを通して、全国に牧水を発信する事業に取り組んでいますが、牧水のふるさと日向市をより多くの方に知っていただくために、さらなる顕彰活動が必要です。	牧水顕彰事業	・牧水記念文学館企画展 ・牧水・短歌甲子園 ・牧水祭 ・青の国若山牧水短歌大会 ・若山牧水賞記念講演会 ・若山牧水生誕140周年記念事業実行委員会設立	・牧水記念文学館企画展 ・牧水・短歌甲子園(8月) ・牧水祭(9月)	・牧水記念文学館企画展 ・青の国若山牧水短歌大会表彰式(12月) ・若山牧水賞記念講演会(2月) ・若山牧水生誕140周年記念事業実行委員会設立	牧水顕彰事業参加者数及び文学館入館者数(年間)	4,800	人
25				-	2 若山牧水記念文学館の来館者増加や牧水公園の利用促進に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	牧水記念文学館の来場者を増やすために、各種企画展の開催をはじめ、東郷町ふるさと公社や各種団体等と連携を図り、人を呼び込む施策に取り組む必要があります。	牧水顕彰事業	・牧水記念文学館企画展	・牧水記念文学館企画展	・牧水記念文学館企画展	牧水記念文学館入館者数(年間)	3,700	人
26			く区5 「重要伝統的建造物群保存地区」	-	2 伝統的建造物の保存修理と町並みの良好な景観形成に取り組めます。	教育総務課	特定物件の83%が大規模修理を終え、歴史的な町並み景観の復元が進んできていますが、空き家の利活用と後継者不足が課題です。	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(補助・単独)	修理・修景事業に対する補助事業を実施し、伝統的な建造物の保存に取り組めます。	国庫補助事業 事業調整1件市単独事業 梅野家板壁修理ほか3件	国庫補助事業 事業調整1件市単独事業 梅野家板壁修理ほか3件	修理修景等の補助件数	5	件

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
27	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	か保5 した地重 魅力要 づ「美統 く「津建 り」造 を物生	-	3 日向市歴史民俗資料館などの公共施設の利用促進に取り組みます。	教育総務課	コロナ禍で観光客数が激減していますが、アフターコロナやインバウンド増加を見据えた対策が課題です。	歴史民俗資料館管理運営費	指定管理者と連携して、日向市歴史民俗資料館を核とした伝建地区の活性化に取り組みます。	管理・運営の向上に留意し施設の利用促進に取り組みます。	伝建地区で開催されるおひなさん祭りを広くPRし、施設の利用促進に取り組みます。	日向市歴史民俗資料館入館者数 (おひなさん祭り期間中)	200	人
			の9 整備新 研た交 究流拠 点	-	1 新たな交流拠点、知の拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた図書館の整備について調査研究を行います。	図書館	老朽化した図書館の建て替えについて要望が出ています。新たな交流拠点、知の拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた図書館の整備についての調査研究を行う必要があります。	※交流施設整備調査研究事業 (所管:総合政策課)	新たな交流拠点として複合的な機能を備えた図書館の整備について、先進事例に関する情報収集に努め、関係課と連携して調査研究を行います。 また、建て替えの検討に併せて、指定管理者制度を含む業務委託について検討します。	・他自治体の先進事例について調査研究を行います。 ・関係課による協議を行い今後の方向性を検討します。	・先進事例に関する情報収集と次年度以降のスケジュールについて検討します。	先進事例として調査研究を行った自治体の数 ※県内の指定管理導入自治体を想定	2	団体
29	3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	ジ2 エ笑 ク顔 トで暮らせる	進1 健康 づくり の推	-	5 児童生徒の健康づくりや食育に取り組みます。	食学 セ校 ン教 育課 ・学 校給	望ましい食習慣を身につかせるために、「弁当の日」の実施や、栄養教諭による食育の出前授業をとおして、食育の推進を図る必要があります。	-	全小・中学校(特別な事情のある学校を除く)において、「弁当の日」を実施します。また、栄養教諭による食育の出前授業を行い、食育の推進を図ります。	食育授業の希望調査を行い、栄養教諭による食育授業を全小・中学校で計画的に実施します。	「弁当の日」(特別な事情のある学校を除く)の取組の効果について、各学校に周知した上で、実施状況調査を行います。	栄養教諭による食育の出前授業回数	140	回
			く生4 りき のがス 推いポ 進づー くりを やや生 健か 康しづ	-	1 スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会の提供や運動習慣の定着に努めます。	スポ ー ツ ・文 化 振 興 課	日向ひよっこマラソンの参加者数は、どこの自治体でも同様のイベントが開催されており、年々減少傾向となっています。今後は、誰もが参加できるスポーツイベントへの転換も含めて方向性を検討します。	日向ひよっこマラソン大会開催事業費	「日向ひよっこマラソン大会」を約300人のボランティアスタッフの協力を得て大会を実施します。 ・実行委員会 9回 ・ゲストランナーの招聘	実行委員会4回	実行委員会4回 大会の実施	大会参加者数	1,500	人

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
31	笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	4 スポーツを生かした生きがいづくりや健康づくりの推進	市主催のスポーツ教室等への参加者数(年間) 【R1】856人 ↓ 【R6】920人	2 総合型スポーツクラブへの支援など生涯スポーツの推進に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	市のスポーツ推進委員が主管するスポーツ教室は、子どもから高齢者まで多くの市民が参加していますが、参加者が少ない教室も見受けられ、さらなる啓発や内容の見直しが必要となっています。 総合型地域スポーツクラブは、会員の増加が図れていないことから、自立した運営が難しい状況となっています。	生涯スポーツ推進事業	スポーツ推進委員については、人員の確保に努め、更なるスキルアップのため研修会等に積極的に参加できるよう支援します。 また、「ひむかYOUゆうクラブ」については、会員や活動場所の確保、人材育成などの支援を行いながら、自立した運営を目指します。	・スポーツ教室 5事業26教室 ・研修会の企画、検討 ・総合型地域スポーツクラブの活動場所確保、支援	・スポーツ教室 5事業24教室 ・研究大会の参加 ・総合型地域スポーツクラブの活動場所確保、支援	市が主催するスポーツ教室等参加者数(延数)	700	人
				スポーツ施設の利用者数(年間) 【R1】233,817人 ↓ 【R6】234,000人	3 スポーツ施設の適切な維持管理や利用促進を図ります。	教育総務課	管理するほとんどのスポーツ施設が整備して年数が経過し、老朽化が進行しています。安全・安心に利用できるよう計画的な維持管理を行う必要があります。	お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)管理運営費他	指定管理者と定期的に協議を行い情報共有するとともに、その他の施設は定期的に点検を行い、必要に応じて修繕等を行います。	施設管理委託契約を行うとともに、定期的な点検及び維持修繕に努めます。	定期的な点検及び維持修繕に努めます。	スポーツ施設の年間利用者数	190,000	人
				-	5 小学校、中学校、高校が連携し、競技団体を中心にアスリートの育成に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	国民スポーツ大会等の全国規模の大会出場を見据え、それらの大会に出場する選手を育成するためには、小・中・高の運動部活動の顧問やスポーツ指導者と競技団体をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に取り組むことが重要です。	競技スポーツ推進事業	スポーツ協会、スポーツ少年団、市内小中学校、高校と連携して指導者を対象にした講演会及び実技講習会を通じて競技力の向上を図ります。	・講演会講師選定、依頼 ・実技講習会種目の選定	・指導者を対象にした講演会及び研修会実施 ・実技講習会種目の実施	指導者を対象にした講演会の回数	2	回

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【教育委員会】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R5予算事業名	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	令和5年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
34	笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	3	3	-	1 地域の核となる地区公民館の機能強化を図ります。	生涯学習課	地区公民館では、暮らしに役立つ講座を開催し、仲間づくりの場としても利用されていますが、さらに幅広い年齢層や男性が参加しやすい講座の充実に取り組む必要があります。	子ども土曜教室事業	7公民館で8つの子ども土曜教室を募集します。 市内5、6年生対象の『子ども土曜講座く声優のたまごクラブ』を開設します。	・募集案内、各講座の実施 ・参加者アンケートの実施	・各講座の実施 ・学習発表会の開催 ・参加者アンケートの実施	延べ参加者数	560	人
35								高齢者学習支援事業	7つの公立公民館高齢者学級の共通名称として『もっと学び隊』を加え、学習内容にスマホ、相続、安全などを組み込みます。			延べ参加者数	360	人
36								公民館主催講座事業	抽選になった人気講座は再度開設します。自主学習グループが減少しており、廃止した分野を補完する講座の開設や公民館発表会の検討会を行います。			延べ参加者数	2,700	人
37	笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	3	3	-	2 老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を行います。	生涯学習課	地区公民館は、避難所の役割も果たしていますが、7施設中3施設は建築年数40年を超えており、老朽化している状況です。	・中央公民館施設管理運営費 ・日知屋公民館施設管理運営費 ・大王谷公民館施設管理運営費 ・美々津公民館施設管理運営費 ・南日向公民館施設管理運営費 ・細島公民館施設管理運営費 ・東郷公民館施設管理運営費	第2次日向市行財政改革大綱及び日向市公共施設等総合管理計画に沿って、老朽化している地区公民館の整備や新たな地区公民館の整備に向けた検討を進めていきます。	個別施設計画に沿って、老朽化が進んでいる施設については、老朽度や利用・コストの状況を総合的に勘案しながら廃止、整備や年次的な改修などの検討を進めていきます。	個別施設計画に沿って、老朽化が進んでいる施設については、老朽度や利用・コストの状況を総合的に勘案しながら廃止、整備や年次的な改修などの検討を進めていきます。	修繕箇所	10	箇所
38	適度な自然豊かなまちづくり	3	3	-	1 子どもが自然環境に触れ、学ぶ機会を作ります。	学校教育課	総合的な学習の時間において、自然環境の調査を行ったり、環境保全に関するボランティアに取り組んだりして、身近な環境との関わり方について考えさせています。	-	総合的な学習の時間や特別活動等の学習の中で、自然環境の調査や環境保全のボランティアに取り組むとともに、SDGsに関する情報の提供に取り組めます。	地域の環境の調査を行ったり、身近な自然環境の保全のためのボランティアに取り組んだりするなど、自然環境と子どもが関わる場面を設けます。	SDGsの視点とも関連させながら、身近な自然を保全することの大切さについて学び、自分ができることについて考えさせ、今後の実践意欲を喚起させます。	身近な環境保全をテーマとした学習に取り組んだ学校数の割合	20	校

様式1-3 その他に取り組む重点事業

【教育委員会】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	現状と課題	R5取組内容	R5上半期	R5下半期
1	1 教育文化	育1 の推 進 力 を 育 む 教	実③ 特 別 支 援 教 育 の 充	学 校 教 育 課	障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費	児童生徒の特性等に応じた教育支援へのニーズは増加傾向にあります。特別支援教育支援員の適性な配置と通級指導教室の効果的な運用が必要です。	障がい等のある児童生徒がその状況に応じた適切な環境の中で、学校生活を送られるように、特別支援教育担当専任指導主事による就学相談に関する支援や小・中学校への特別支援教育支援員の適正な配置を行うとともに、通級指導教室の増設や適切な運営と支援の充実を図ります。	特別支援教育担当専任指導主事による就学や在籍時の相談・支援、特別支援教育支援員の配置や通級指導教室の充実を図ります。そのために、学習上や学校生活上の支援について、研修会や学校訪問を通して、支援員が適切な支援ができるように体制を整えていきます。	障がい等のある児童生徒がその状況に応じた適切な環境の中で、安定した学校生活を送られるように、特別支援教育担当専任指導主事による就学や在籍時の相談・支援、特別支援教育支援員の配置や通級指導教室の充実を図ります。
2	2 魅力ある教育体制や環境の充実	2 魅 力 あ る 教 育 体 制 や 環 境 の 充 実	支① 援 児 童 の 生 徒 充 実 の 相 談	学 校 教 育 課	スクールサポート事業	児童生徒を取り巻く社会的環境の変化や影響は、生徒指導上の問題においても深刻さを増しており、解決困難な事案が発生が懸念されます。 今後の対応では、命や人権に係る事案について、消極的な姿勢ではなく、積極的に発見、予防を図る指導体制の構築が必要です。	生徒指導担当専任指導主事による各学校での生徒指導体制の充実及び各協議会や専門委員会等との連絡・調整を行い、包括的な生徒指導の体制づくりを支援します。また、児童生徒保護者へのメディアコントロールに関する啓発を積極的に行います。	各学校での生徒指導部会等に参加し、課題を抱えた児童生徒への対応について状況のアクセスメントやプランニングのアドバイスを行います。また、市内全ての学校を目標にメディアコントロールに関する教室を実施します。	問題が起きにくい雰囲気醸成を図るため、各学校の生徒指導主事を対象とした研修の充実を図ります。
3			の② 推 進 健 康 児 童 の 生 徒	学 校 教 育 課	就学時健康診断に要する経費	就学予定者の心身の健康状態を把握し、保健上必要な助言や健康指導、適正な就学指導を行うことが必要です。	次年度の就学予定者に対し、心身の状況を把握するために、各診察・検査を実施し、適正な就学指導を行います。	次年度就学予定者に対し、就学時健康診断を実施するため、小学校と学校医・学校歯科医と日程調整を行い、保護者への案内通知や実施体制を整えます。	就学時健康診断を実施し、結果を保護者及び学校に通知するとともに、学校生活に支障となる疾患等について、関係機関と連携しながら、受診勧奨や就学支援を行います。

様式1-3 その他に取り組む重点事業

【教育委員会】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	現状と課題	R5取組内容	R5上半期	R5下半期
4	1 教育文化	2 魅力ある教育体制や環境の充実	② 推進 児童生徒の健康づくり	学校教育課	保健体育の充実に要する経費	児童生徒の健康維持のために、健康診断を実施し、疾患の早期発見・早期治療の指導を行い、重症化を防ぐことが必要です。	学校医と相談し、学校における児童生徒の健診を実施し、児童生徒の疾患の早期発見・早期治療等が図られるように取り組みます。	児童生徒の健康診断については、学校での実施体制を整え、健診を実施します。	児童生徒の学校健康診断の結果に基づき、日常生活の指導や受診勧奨などの事後指導を行います。
5				学校教育課	安全教育の推進に要する経費	安全な学校生活を送るためには、学校の環境について、適正な検査の実施が必要です。	学校薬剤師と連携し、水道水やプールの水質検査、環境衛生検査を行い、児童生徒が安全した生活が送れるように、学校での安全管理に取り組みます。	水道水やプールの水質検査、環境衛生検査を実施し、学校薬剤師により、学校に適正な指導を行い、改善を図ります。	環境衛生検査を実施し、学校薬剤師により、学校に適正な指導を行い、改善を図ります。
6			③ 学校給食の充実	セ学校給食	給食調理に要する経費(学校給食センター)	児童生徒の心身の健全な発達、正しい食習慣を身に付けてもらうために安定的に学校給食を提供することが必要です。	市内小・中学校の児童生徒に安全・安心の学校給食を提供し、円滑で安定した学校給食の運営に努めます。	委託事業者への的確な指示を行い、事業内容を確認します。	委託事業者への的確な指示を行い、事業内容を確認します。
7				タ学校給食センター	安全衛生対策に要する経費(学校給食センター)	衛生的な施設、作業環境等を整備することにより、安全安心な学校給食を提供し続けなければなりません。	異物混入の原因となる害虫駆除を専門業者に委託し、点検、対策、改善方法の提案を受けるなど施設内外の総合的な衛生管理を実施し、衛生的な施設環境・作業環境を整備します。	衛生管理に関する備品・消耗品等の計画的購入、法定検査等を実施します。	衛生管理に関する備品・消耗品等の計画的購入、法定検査等を実施します。

様式1-3 その他に取り組む重点事業

【教育委員会】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	現状と課題	R5取組内容	R5上半期	R5下半期
8	1 教育文化	境教2の育充実	の③充実	学校給食センター	日向市学校給食センター管理運営費	供用開始から7年が経過し、設備機器の不具合の頻度が多くなっていることから、安全・安心な学校給食の提供のため、設備機器の長寿命化が必要です。	引き続き調理機器の維持管理を目的に「壊れる前に直す」ため、長寿命化計画に基づき、冷蔵庫、器具消毒保管機、蒸気回転釜、食缶洗浄機の点検、部品交換を実施します。	冷蔵庫及び器具消毒保管機の点検、部品交換を実施します。	蒸気回転釜及び食缶洗浄機の点検、部品交換を実施します。
9		4 社会教育の推進	実③自主学級活動の充	生涯学習課	自主学級事業	女性学級と高齢者学級においては、年々実施団体が少なくなっています。	趣味や教養に関する学習だけでなく、それぞれの年代や地域社会が抱える課題についての学習機会が創出できるよう支援していきます。 家庭教育学級については、引き続き県の事業である「みやざき家庭教育サポートプログラム」の積極的な活用を促し、実りある活動につなげていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・募集案内 ・開設説明会の開催 ・委託料の交付 ・活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級学級長会の開催 ・実績報告の確認 ・活動支援
10		5 図書館サービスの充実	能①の充実	図書館	図書館サービス・資料の充実に要する経費	コロナ禍により減少していた来館者数・貸出冊数が回復してはいますが、コロナ禍以前の水準には届いていない状況です。再び利用してもらえるように努める必要があります。	引き続き図書館サービスや利便性の向上を図るとともに、利用者情報の適正化に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの図書館利用カードとしての活用について、関係機関の動静を見ながら調査研究を行います。 ・図書館利用カードの情報更新について周知を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの図書館利用カードとしての活用について、関係機関の動静を見ながら調査研究を行います。 ・図書館利用カードの情報更新について周知を図ります。
11			の②推進	図書館	生涯学習ボランティア(図書館)の育成事業	既存のボランティア団体「友の会」については、会員が高齢化してきているため、新たなボランティアの育成に向けて働きかける必要があります。	既存団体「友の会」の活動支援や有志団体との連携を継続するとともに、新たな図書館ボランティアの育成・活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・既存団体「友の会」の組織の見直しについて支援を行うとともに、読み聞かせ等での活用を図ります。 ・新たな図書館ボランティアと連携した事業を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな図書館ボランティアと連携した事業を行います。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【教育委員会】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	所管課	R5取組内容	R5上半期	R5下半期
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	市政の情報発信の充実	務教課育総	広報ひゅうが、市ホームページ、フェイスブック等を活用して、周知を図ります。	—	広報ひゅうが・市ホームページ、フェイスブック等に募集案内を掲載
2				館図書	広報誌の発行 HP運営	図書館だよりの発行 HP情報更新	図書館だよりの発行 HP情報更新
3			市民ニーズの的確な把握	生涯学習課	社会教育活動に関する参加者募集などについて、広報ひゅうがや生涯学習だよりなどを積極的に活用し、周知を図ります。	様々な事業の参加者募集などの告知を行います。	講演会や発表会などの告知を行います。
4				図書館	市民の声を取り入れます。	リクエストサービス 貸出・予約ランキングの把握 雑誌スポンサー制度の周知	リクエストサービス 貸出・予約ランキングの把握 雑誌スポンサー制度の周知
5		職員の育成	災害に対する職員対応能力の強化	務教課育総	施設を定期的に点検し、危険箇所の把握を行います。	定期的な施設点検	定期的な施設点検
6		市民に開かれた市役所づくり	窓口サービスの充実	図書館	市民の要望に的確かつ最大限に対応します。	レファレンスサービス、マイライン等ネットワーク活用の相互貸借	レファレンスサービス、マイライン等ネットワーク活用の相互貸借
7			電子行政サービスの充実	館図書	HP(PC版・携帯版)の活用	HPからのネット貸出予約の受付	HPからのネット貸出予約の受付
8		情報公開と個人情報の保護	情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運用	全課	研修を通して理解を深め、個人情報保護の適正な運用に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 不要な個人情報の廃棄処分を行い、適正な管理に努めます。 研修に参加し、理解を深めます。 日向市個人情報保護法施行条例等を遵守します。 	<ul style="list-style-type: none"> 不要な個人情報の廃棄処分を行い、適正な管理に努めます。 研修に参加し、理解を深めます。 日向市個人情報保護法施行条例等を遵守します。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【教育委員会】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	所管課	R5取組内容	R5上半期	R5下半期	
9	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	事務事業の見直し	全課	日頃より業務の改善ができないか注視し、効果的・効率的な運営ができないか検討していきます。	教育委員会部課長会などを通して、情報共有と連携を図ります。日頃から担当業務の改善に努めます。	教育委員会部課長会などを通して、情報共有と連携を図ります。日頃から担当業務の改善に努めます。	
10				館図書	業務の簡素化・効率化を図ります。	依頼文書、手順の見直し	依頼文書、手順の見直し	
11		行政運営の効率化の推進	内部統制体制の整備	館図書	主任・副主任を置いて司書等の意見、事務割り振りを集約します。	主任・副主任を置いて司書等の意見、事務割り振りを集約します。	主任・副主任を置いて司書等の意見、事務割り振りを集約します。	
12				図書館	図書館ボランティアの活用	ボランティアによる読み聞かせ ブックリペア 花壇の手入れ	ボランティアによる読み聞かせ ブックリペア 花壇の手入れ	
13				図書館	情報環境の充実	マイナンバーカードの図書館利用カードとしての活用 フリーWi-Fi環境の提供 インターネット端末の設置、端末による蔵書検索・予約等	マイナンバーカードの図書館利用カードとしての活用 フリーWi-Fi環境の提供 インターネット端末の設置、端末による蔵書検索・予約等	
15				職員の働き方改革	全課	繁忙期においては、課内で協力しながら事務の分担を行い、時間外勤務の改善を図ります。	係長会や係会を行い、各担当が取り組んでいる業務の状況を共有します。	係長会や係会を行い、各担当が取り組んでいる業務の状況を共有します。
16					図書館	無理のない勤務体制に努めます。	職員の希望を基に勤務日程表を作成し勤務状況の把握と管理を行います。	職員の希望を基に勤務日程表を作成し勤務状況の把握と管理を行います。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【教育委員会】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	所管課	R5取組内容	R5上半期	R5下半期
17	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	第三セクターの経営健全化	文 ス 化 ポ 振 興 課	(公財)文化振興事業団の健全な事業運営を支援します。また、老朽化している施設の改修を計画的に行います。	・運営委員会の開催(毎月1回) ・施設整備の実施(文化交流センター:非常用電源設備修繕、小ホール談話ラウンジ空調設備工事)	・運営委員会の開催(毎月1回) ・施設整備の実施(文化交流センター:舞台監視モニターカメラ更新工事(予定))
18		自主財源の確保	債権管理の推進	務 教 課 育 総	定期的な催告、訪問等により、滞納者の状況把握と納付指導を行います。	納入状況の確認、催告	納入状況の確認、催告
19				課 生 涯 学 習	納入が遅れている場合には、今後も電話や文書にて催告を行っていきます。	納入状況の確認、催告	納入状況の確認、催告